

# 製造業DXを現場から前進させる

既存設備を活かし、データ取得から可視化・AI活用まで一気通貫

後付けIoT・AI装置、設備改造、現場実装を通じて、  
工場のデジタル化を現実的に前へ進めます。



01

後付けIoT・AI装置の  
開発・設置

既存設備の信号取得、  
センサー追加、可視化、アラート



02

産業機械の  
修理・改造

設備延命、制御改善、  
現場に合わせた改造対応



03

IoT・AI研修/  
伴走支援

現場理解を前提に、  
実務で使える形まで支援



クラウド



IoTゲートウェイ  
(後付け)



PLC・設備接続



AI活用



“止めずに始めるDX”を強みに、現場で動く仕組みを構築

# 事業内容

製造業の現場課題に対し、実装まで踏み込んだDX支援を提供

単なる提案にとどまらず、設備・電気・IoT・AIをつないで、現場で動く仕組みまで構築します。



01

## 後付けIoT化

PLC・センサー・BLE・  
LTE等を活用し、  
既存設備からデータ取得



02

## 可視化・通知

ダッシュボード、稼働監視、  
アラート通知、  
現場データの見える化



03

## AI活用

画像判定、異常兆候の把握、  
IoTデータ分析、  
レポート化支援



04

## 設備改造・保全支援

産業機械の修理・改造、  
制御改善、  
設備延命



01

現地下見・課題整理



02

信号選定・データ取得



03

可視化・通知



04

AI分析・改善



設備更新ありきではなく、“今ある設備を活かすDX”を推進

# 独自の強み

## 現場理解・設備対応力・IoT/AI実装力を一社でつなげる

製造現場では、単なるIT提案だけではDXは進みません。  
設備とデータの両方を理解し、実装までやり切る力が重要です。



### 01 現場対応力

500社超の現場対応経験を活かし、  
設備ごとの制約に合わせて実装



### 02 後付け実装力

既存設備を活かし、  
止めずに始める段階的DXが可能



### 03 技術横断力

PLC・電気・IoT・クラウド・AIを  
横断して設計



### 04 スピード

小さく始めて早く価値検証し、  
現場改善を前へ進める



### 05 AI時代への適応

取得したIoTデータを分析し、  
次の改善につながる洞察へ変換



設備信号



IoTゲートウェイ



データ蓄積



可視化



AI分析



改善

“現場で使える形”まで落とし込めることが、最大の差別化ポイント

# 提供価値と進め方

## 小さく始め、現場成果を積み上げながらDXを前進

製造業DXは、大規模刷新よりも、データ取得できる現場から着実に進める方が成功しやすいと考えています。

### 1 現地下見・課題整理



- ・現場を確認し、課題を把握
- ・対象工程・機器の優先順位付け

### 2 対象信号・設備の選定



- ・取得可能な信号の洗い出し
- ・後付けしやすい設備を選定

### 3 後付けIoT実装



- ・センサー設置・IoTゲートウェイ接続
- ・データ収集基盤の構築

### 4 可視化・通知・AI分析



- ・リアルタイム可視化・アラート通知
- ・AIによる異常検知・傾向分析

### 5 改善・横展開



- ・改善施策の実行・効果検証
- ・他工程・他設備へ横展開

## 期待できる効果



設備稼働の見える化  
稼働・停止・稼働率をリアルタイムで可視化



異常・停止要因の把握  
データとアラートで原因特定を迅速化



保全判断の高度化  
予兆検知により計画保全を最適化



改善スピードの向上  
データ活用で改善サイクルを高速に回す

昭和設備を活かしながら、AI時代に対応できる“現場データ基盤”を構築

🕒 まずは1台・1工程からでもスタート可能

## 技術を見抜き、現場で使える形にする実装会社

3UPテクノロジーは、産業用IoT・AI装置の開発・設置を  
主業務とする、技術ドリブンの実装会社です。

**結果が出ない技術は使わない。  
見込みがない技術は販売しない。**

現場経験と徹底した技術検証をもとに、技術が実務で本当に通用するかを見極めます。  
パッケージ製品の根幹技術まで理解・評価し、最適な導入方針を判断します。



### 主業務

産業用IoT・AI装置の  
開発・設置



### 技術判断

徹底した検証に基づき、  
通用する技術だけを選定



### 導入力

根幹技術を見抜き、  
最適な導入方針を判断



代表取締役 **三上 典秀**



**目的はシステム販売ではなく、現場課題を技術で解決すること。**



代表取締役 **三上 典秀**  
Norihide Mikami

## 製造現場と本社業務をつなぐ実務経験

現場・設備・データ・本社判断をつなげられることが、3UP活用の価値。

**1** 大手電機メーカーで  
19年勤務



製造業の現場と  
本社の両方を経験

**2** 本社企画部門で  
約4年



情報システム連携・  
DB活用にも従事

**3** 独立後9年、  
IoTとAIだけを  
やってきた專業会社



製造業向けIoT・AIを  
專業で継続する  
希少な実装会社

**4** 実務に落とせる  
設計力



技術・データ・業務を  
つなぎ、導入判断まで  
支援



現場経験



本社企画



情報システム連携



DB活用

技術を知っているだけでなく、経営判断につながる形まで落とし込めることが強み。

# AI時代は、小さく速く検証できる技術会社が強い

小さく検証し、技術の見込みを早く判断するために3UPを活用する



2025年 全日本AIハッカソン 優勝



大阪・関西万博 出展（総務省枠）



**開発の前提が  
変わった**

従来は人数と期間が必要だったソフトウェア開発も、AIを使いこなせる技術者がいれば、短期間で試作・改善まで進められる時代になった。



**重要なのは  
人数ではなく  
AI活用力**

初期検証では、開発者の人数よりも、業務課題を理解し、AIに正しく指示し、動く形まで持っていく技術判断力が重要。



**3UPの役割**

大規模システムの丸投げ先ではなく、小さく試し、見込みがある技術だけを次に進めるための実装パートナー。



日本トップレベルの  
AI実装力



最新AIを  
実務で使いこなす



実装スピード  
重視

大規模投資の前に、小さく検証し、見込みがある技術だけを次に進める。それが3UPを活用する理由です。